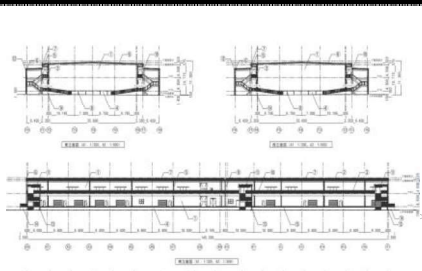


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	健軍(6)施設最適化総合設計	階数	地上2階、地下0階
建設地	熊本市 東区東町2丁目2番1他14筆	構造	S造
用途地域等	準工業	平均居住人員	105 人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年3月3日
敷地面積	288,319 m ²	作成者	今永 和浩
建築面積	5,820 m ²	確認日	2025年3月20日
延床面積	10,543 m ²	確認者	宮川 真一郎



2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)

排出率 **73%**

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

79

評価点

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

※評価点は、100点以上が推奨です。

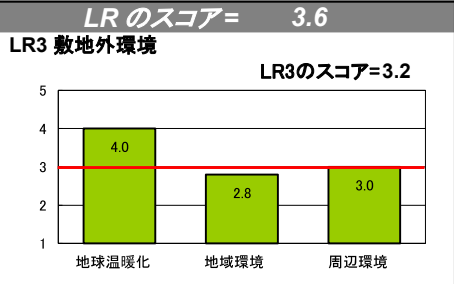
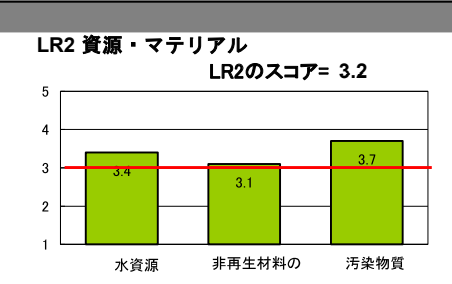
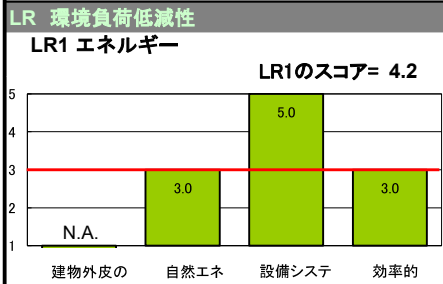
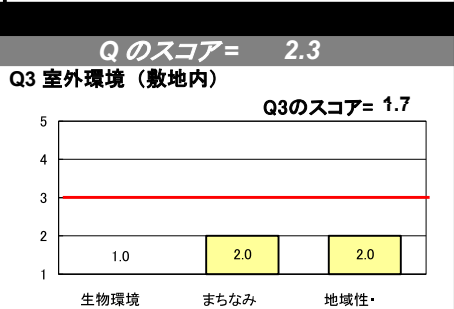
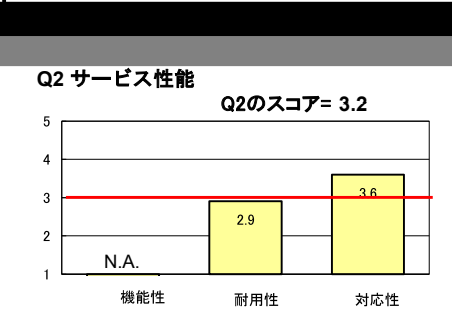
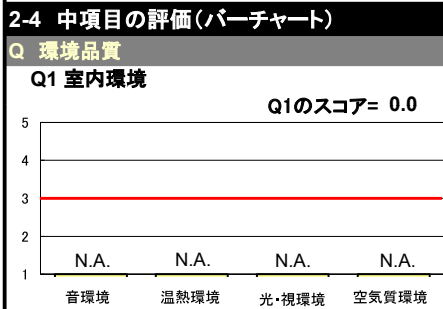
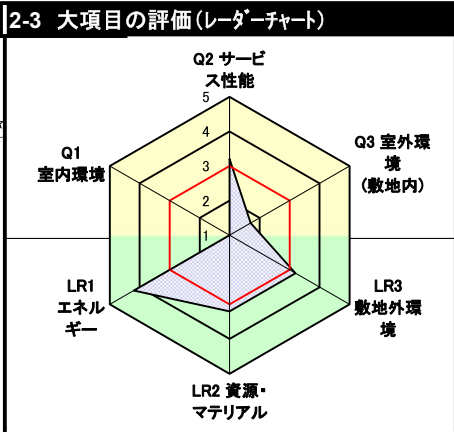
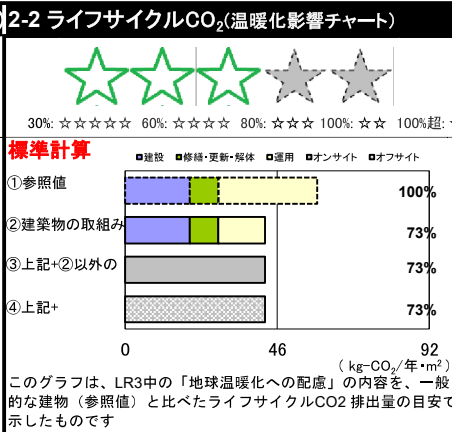
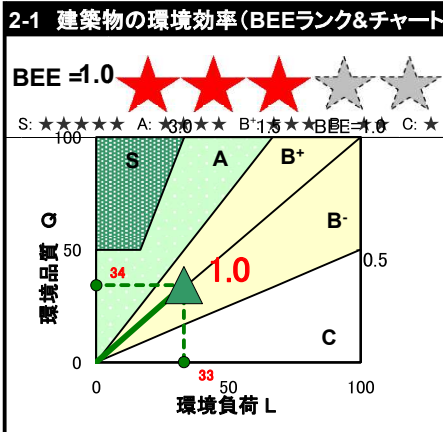
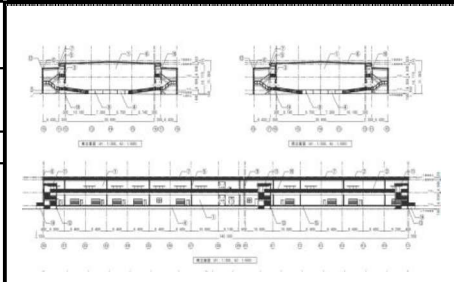
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進 **92.8**

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **53.3**

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全 **78.5**

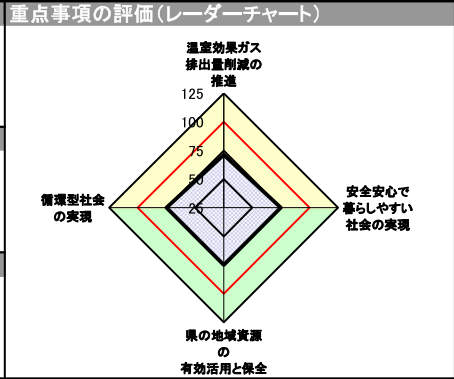
【重点事項4】 循環型社会の実現 **79.5**

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	健軍(6)施設最適化総合設計	階数	地上2階、地下0階
建設地	熊本市 東区東町2丁目2番1他14筆	構造	S造
用途地域等	準工業	平均居住人員	105 人
省エネ・地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2027年8月 予定	評価の実施日	2025年3月3日
敷地面積	288,319 m ²	作成者	今永 和浩
建築面積	5,820 m ²	確認日	2025年3月20日
延床面積	10,543 m ²	確認者	宮川 真一郎



3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価		評価点 = 79	
重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進	92.8	重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現	53.3
重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全	78.5	重点事項4: 循環型社会の実現	79.5



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.3
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能					0.43				3.2
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性				2.9	0.50				2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.6	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				2.0	0.20				
3 対応性・更新性				3.6	0.50				3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30				
1 階高のゆとり		階高:3.9m以上。		5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ		[壁長さ比率=0.0877] <0.1		5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30				
3.3 設備の更新性				3.0	0.40				
1 空調配管の更新性				3.0	0.20				
2 給排水管の更新性				3.0	0.20				
3 電気配線の更新性				3.0	0.10				
4 通信配線の更新性				3.0	0.10				
5 設備機器の更新性				3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20				

Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.47	5.0	0.63	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGSを使用している。	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1		消火剤	-	-	-	-	
2		発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	
3		冷媒	3.0	0.50	-	-	
ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を使用している。							
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率73%。	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1		雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3		交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1		騒音	3.0	1.00	-	-	
2		振動	-	-	-	-	
3		悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2		砂塵の抑制	-	-	-	-	
3		日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
2		壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

■ 環境関連の配慮事項

健軍(6)施設最適化総合設計

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	
Q1 室内環境	特になし。	
Q2 サービス性能	階高:3.9m以上。 [壁長さ比率=0.0877] < 0.1	
Q3 室外環境 (敷地内)	特になし。	
LR1 エネルギー	BEIm = 0.47	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率73%。 燃焼機器を使用していない。	
その他	特になし。	

建物名称 健軍(6)施設最適化総合設計

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				92.8	0.40	37.12
Q1-2.1.2	外皮性能	0.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	0.0	0.00			
Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.29			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.43			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.14			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.14			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				53.3	0.20	10.66
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.20			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				78.5	0.20	15.70
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.29			
LR2-1.1	節水	4.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				79.5	0.20	15.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数